

安全に関するお知らせ

⚠警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守るこの「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- 定期的に点検する1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。
- 故障したら使わない動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。
- 万一、異常が起きたら変な音・においがしたら、煙が出たら



- 電源を切る
- ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ⚠危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- ⚠警告** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
- ⚠注意**

注意を促す記号
⚠ ⚠ ⚠
注意 火災 感電
行為を禁止する記号
🚫 🚫 🚫
禁止 分解禁止 接触禁止
行為を示す記号
❗
指示

⚠危険	⚠火災	⚠感電	下記の注意事項を守らないと 火災・感電・発熱・発火 により 死亡 や 大けが の原因となります。
------------	------------	------------	---

- 🚫 禁止** 付属以外のマイクロUSBケーブルを使わない充電するときは、必ず付属のマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。
- 🚫 禁止** 推奨以外のUSB充電AC電源アダプターを使わないUSB充電AC電源アダプターを用いて充電するときは、必ず推奨のAC-US01AD(別売)を使用してください。
- 🚫 禁止** 火の中に入れない
- 🚫 禁止** 分解しない故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。
- 🚫 禁止** 火のそばや炎下などで充電したり、放置しない

⚠警告	⚠火災	⚠感電	下記の注意を守らないと 火災・発熱・発火・感電 によりやけどや 大けが の原因となります。
------------	------------	------------	---

- 🚫 禁止** 道路交通法に従って安全運転する運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となります。
- 運転中は本機および携帯電話を使用しない。
- 運転中に携帯電話の画面を注視しない。
- 特にノイズキャンセリング機能は周囲の音を遮断しますので、警告音なども聞こえにくくなります。運転中以外でも、路切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では本機を使わないでください。
- 🚫 禁止** 内部に水や異物を入れない本機は防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 🚫 禁止** 本体を布団などでおおった状態で使わない熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意	下記の注意を守らないと けが をしたり 周辺の家財に損害 を与えたりすることがあります。
------------	--

- 🚫 禁止** 大音量で長時間続けて聞きすぎない耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。本機に付いている*Bluetooth*機器によっては、通話時にハウリング現象がおきることがありますので、常に適度な音量を保つようにしてください。
- 🚫 禁止** はじめから音量を上げすぎない突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。
- 🚫 禁止** かゆみなど違和感があったら使わないヘッドホンが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。
- 🚫 禁止** イヤーピースはしっかり取り付けるイヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。イヤーピースはしっかり取り付けてください。
- 🚫 禁止** 通電中の製品に長時間ふれない長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
- 🚫 禁止** 本機をスポンなどの後ろのポケットに入れて座らない変形や故障の原因となることがあります。
- 🚫 禁止** 本機にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない変形や故障の原因となることがあります。
- 🚫 禁止** 本機を航空機内で使わない電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- 🚫 禁止** 本機を医療機器の近くで使わない電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- 🚫 禁止** 本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 🚫 禁止** 本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使えない電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
- ❗ 指示** 本機は、国内専用です海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険	充電式電池が液漏れしたとき
充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない	
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。	
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。	
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。	

- ⚠危険** 充電式電池について
- 付属のマイクロUSBケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎下の中車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。

本機を廃棄するときのご注意

 本機に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

使用上のご注意

機器認定について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解・改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本機の使用上の注意事項
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用機内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。 2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。 3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。
2.4 F H 1 この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

Bluetooth無線技術について

*Bluetooth*無線技術は、デジタルミュージックプレーヤーやヘッドホンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。USBのように機器同士をケーブルでつなく必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth通信について

- Bluetooth*無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth*機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機と*Bluetooth*機器を接続するときは、無線LANから10m以上離れたところで行う。
 - 10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機と*Bluetooth*機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth*機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では本機および*Bluetooth*機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、*Bluetooth*無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、*Bluetooth*標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。*Bluetooth*通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth*通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべての*Bluetooth*機器との*Bluetooth*接続を保証するものではありません。
- Bluetooth*無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、ヘッドセット側での再生がわずかに遅れます。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

静電気に関するご注意

人体に蓄積される静電気により耳にビリビリと痛みを感じる場合があります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

その他のご注意

- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や停車中の車内などには置かないでください。故障の原因となります。
- 携帯電話でご利用の際、電波状況、場所の影響により、ご利用できない場合があります。
- 本機の使用中に不快感が発生した場合はすぐに使用を停止して、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- 本機は、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまうおそれがあります。保管するときは、変形しないようにしてください。
- 濡れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損・劣化し交換する場合は、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談いただくか、別売りのEP-EX11シリーズ(SS、S、M、Lの各サイズ)をお買い求めください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源が入らない
→ 本機を充電する。
→ 充電中は電源を入れることができません。マイクロUSBケーブルを本機からはずして電源を入れる。
機器登録できない
→ 本機と*Bluetooth*機器をなるべく近付けてから機器登録する。
***Bluetooth*接続ができない**
→ 本機の電源が入っているか確認する。
→ *Bluetooth*機器の電源が入っていて*Bluetooth*機能が有効になっていることを確認する。
→ 本機あるいは相手側*Bluetooth*機器の機器登録情報が削除されている。再度機器登録する。

音がひずむ
→ 本機や*Bluetooth*機器の周辺に2.4 GHz帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。

通信距離が短い(音が途切れる)
→ 無線LANや*Bluetooth*機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使用する。
→ 本機のアンテナを相手側*Bluetooth*機器の方向へ向け、障害物で遮らないようにする。
→ ノイズキャンセリング機能をオンにしていると、静かな場所や周囲の騒音の種類によってはノイズが大きくなる場合があります。その際はノイズキャンセリング機能をオフにしてください。なお、本機は屋外や電車内などの騒音の多い場所でノイズキャンセル効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの首圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をオフにしても静かな場所ではかすかなホワイトノイズが聞こえる場合があります。

本機を操作できない
→ 本機をリセットする。詳しくは、「各部の名前」のRESETボタンをご覧ください。

充電できない
→ 本機とパソコンが付属のマイクロUSBケーブルでしっかり接続されているか確認する。
→ パソコンの電源が入っているか、スタンバイ(スリープ)、休止状態に入っていないか確認する。
→ 本機とパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながっているか確認する。
→ 接続しているパソコンのUSB端子に問題がある可能性がある。パソコンに別のUSB端子があれば、そのUSB端子に接続し直す。
→ 上記に当てはまらない場合は、USB接続をします。

充電時間が長い
→ 本機とパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながっているか確認する。

音が出ない
→ 本機と*Bluetooth*機器の接続ができていない。*Bluetooth*接続する。
→ 本機と*Bluetooth*機器が、A2DPで*Bluetooth*接続されていない。A2DPで*Bluetooth*接続をする。
→ *Bluetooth*機器で音楽が再生されているか確認する。
→ 本機の電源が入っているか確認する。音量が小さすぎないか確認する。
→ 本機と*Bluetooth*機器を再度機器登録する。

音が小さい
→ 本機の音量を上げる。
→ *Bluetooth*機器側で音量を調節する必要がある場合は、音量を上げる。

音質が悪い
→ 本機と*Bluetooth*機器が、HFPやHSPでの*Bluetooth*接続になっているときは、機器を操作して、A2DPでの接続に切り換える。

音楽再生中に音が途切れやすい
→ 本機は高い音声ビットレートで音楽を受信できますが、ご使用環境によっては音が途切れやすい場合があります。「各部の名前」のヒントをご覧ください。

通話相手の声が聞こえない
→ 本機と*Bluetooth*対応携帯電話の電源が入っているか確認する。
→ 本機と*Bluetooth*対応携帯電話が接続されていない。HFPもしくはHSPで*Bluetooth*接続をする。
→ *Bluetooth*対応携帯電話の音声設定が、通話中に本機を使うようになっているか確認する。
→ 本機の音量が小さすぎないか確認する。
→ *Bluetooth*対応携帯電話で音量を調節する必要がある場合は、音量を上げる。
→ 本機で音楽を聞いているときは再生を停止して、本機のPOWERボタンを押して着信に応答する。

通話相手からの音が小さい
→ 本機の音量を上げる。
→ *Bluetooth*対応携帯電話で音量を調節する必要がある場合は、音量を上げる。

ノイズキャンセル効果が得られない
→ NC ON/OFFスイッチがONになっているか確認する。
→ イヤーピースを交換したり、おさまりの良い位置にするなど、ヘッドホンをぴったりと耳に装着させる。イヤーピースを交換する際には、イヤーピースははずれて耳に残らないよう、ヘッドホんにしっかり取り付けてください。
→ 静かな場所や、周囲の騒音の種類によっては、ノイズキャンセル効果を感じられないことがあります。

主な仕様	
通信方式 <i>Bluetooth</i> 標準規格 Ver. 3.0	動作温度 0℃～35℃
出力 <i>Bluetooth</i> 標準規格 Power Class 2	電源 3.7V:内蔵充電式リチウムイオン電池
最大通信距離 見通し距離 約10 m*	電池持続時間 連続通信時間 ノイズキャンセリング機能 オン時: 約3時間 ノイズキャンセリング機能 オフ時: 約3.5時間 待ち受け時間 約60時間
使用周波数帯域 2.4 GHz帯 (2.4000 GHz - 2.4835 GHz)	充電時間 約2.5時間
変調方式 FHSS	外形寸法(幅／高さ／奥行き、最大突起部含まず) 約50.5 x 24.5 x 11.9(mm)
対応Bluetooth プロファイル *2 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) HFP(Hands-free Profile) HSP(Headset Profile)	コード長 約40 cm
対応コーデック *3 SBC*4、AAC*5	質量 約26 g
対応コンテンツ保護 SCMS-T方式	レシーバー部 型式:密閉ダイナミック型 ドライバーユニット径:約13.5 mm
伝送帯域(A2DP) 20 Hz - 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)	マイク部 型式:エレクトレットコンデンサー型 指向特性:全指向性 有効周波数帯域:100 Hz～4,000 Hz
ノイズキャンセリング機能 ノイズキャンセリング機能対応	

総騒音抑制量(TNSR)*6
10 dB
*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*2 *Bluetooth* プロファイルとは、*Bluetooth*機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*3 音声圧縮変換方式のこと
*4 Subband Codecの略
*5 Advanced Audio Codingの略
*6 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、環境選択「航空機」設定時とヘッドホン非装着時との比較による値。総騒音抑制量(当社測定法による)約10dBは音のエネルギーで約90.0%の騒音低減に相当。

同梱品
ノイズキャンセリング機能搭載、マイク付ワイヤレスステレオヘッドセット(1)
イヤーピース(S、M、L各2)お買い上げ時はMサイズが装着されています。
マイクロUSBケーブル(約50 cm)(1)
取扱説明書(1)
その他印刷物一式

推奨アクセサリ
USB充電AC電源アダプター:AC-US01AD(別売)
スぺアイヤーピース:EP-EX11シリーズ(別売)

USB充電のパソコン推奨環境
以下のOSを標準インストールされており、USB端子が標準装備されたパソコン(日本語版標準インストールのみ)
Windows 7:Starter/Home Premium/Professional/Ultimate
Windows Vista(SP2以降):Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
Windows XP(SP3以降):Home Edition/Professional/Media Center Edition 2004/Media Center Edition 2005
Mac OS X(バージョン10.3以降)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Bluetooth機能のランプ表示	
本機の動作状態をランプで確認できます。	
本機の状態	点滅パターン(○:青／●:赤)
機器登録モード	○●○●○●○●○●○...
接続待ち	○—○—○—○—○—...
接続動作中	○○—○○—○○—○○—...
接続済み(HFP/HSPまたはA2DPの接続)	○—————○—————...
接続済み(HFP/HSPとA2DPの同時接続)	○—○—————○—○—...
音楽再生中／通話中(HFP/HSPまたはA2DPの接続)	○○—————○○—----...
音楽再生中／通話中(HFP/HSPとA2DPの同時接続)	○○○—-----○○○—...
着信中	○○○○○○○○○○○...

💡ヒント
●電池の残量が少なくなると、機器登録モード以外の場合はランプの色が青から赤に変わります。

商標について

- Bluetooth*とそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vistalは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではノイズキャンセリング機能搭載マイク付ワイヤレスステレオヘッドセットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

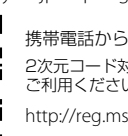
ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには
→ AV 関連商品:アクセサリー カスタマーサポートへ <http://www.sony.jp/support/av-acc/>
*Bluetooth*アクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせ
→ ソニーの相談窓口へ(下記電話・FAX番号)
●お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
セッット本体に関するご質問時:
— 型名:DR-BT1 50NC
— 製造(シリアル)番号:本体裏側のラベルに記載
— ご相談内容:できるだけ詳しく
— お買い上げ年月日

接続に関するご質問時
質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただきます。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

製品登録のおすめ ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。	
パソコンから 	携帯電話から 
http://www.sony.co.jp/avp-reg/	http://reg.msnc.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。	http://www.sony.jp/support/
使い方相談窓口 フリーダイヤル…………… 0120-333-020 携帯電話・PHS…………… 0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
修理相談窓口 フリーダイヤル…………… 0120-222-330 携帯電話・PHS…………… 0466-31-2531 ※取扱説明書リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	➡ 「309」+「#」 を押してください。 直接、担当窓口へおつなぎします。
FAX (共通) 0120-333-389	